

6 「新・宮城の将来ビジョン」とSDGsの関係

<SDGsの5つの特徴との関係>

SDGsの5つの特徴	「新・宮城の将来ビジョン」への反映内容
1 普遍性 (先進国を含め、全ての国が行動)	SDGsの特徴や17のゴール、ターゲットの内容を、本ビジョンの理念等に反映させ、SDGsの達成に向けた取組を推進 (第1章第4節)
2 包摂性 (「誰一人取り残さない」)	県政運営の理念に「県民一人ひとりが、安全で恵み豊かな県土の中で、幸福を実感し、いつまでも安心して暮らせる宮城」を掲げるなど、包摂性の理念を反映 (第3章第1節)
3 参画型 (あらゆる主体・関係者の参画を重視)	県政運営の理念に「多様な主体との連携による活力ある宮城を目指して」を掲げるなど、多様な主体の参画を推進 (第3章第1節)
4 統合性 (経済・社会・環境の相互関連・相乗効果を重視)	4本の政策推進の基本方向の関係性について、SDGsウェディングケーキモデルを踏まえて概念図を整理し、経済・社会・環境に統合的に取り組む統合性の理念を反映 (第5章)
5 透明性 (定期的にフォローアップ)	「推進方策」において、行政評価システムによる事業の有効性や効率性などを検証することで、定期的なフォローアップを実施 (第1章第5節)

<18の取組(本ビジョン)と17のゴール(SDGs)の関係>

取組	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 持続可能なエネルギーを確保	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を推進	6 安全な水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギーを確保	8 働きがい、経済成長を促進	9 産業と雇用創出を促進	10 人や国ごとの格差をなくす	11 持続可能な都市とコミュニティを築く	12 つくばない、減らす、リサイクル	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会を築こう	17 パートナリシップで目標を達成しよう
1								●	●								●
2								●			●						●
3		●						●	●			●	●	●	●		●
4				●	●			●									●
5								●	●								●
6			●		●												●
7	●			●						●						●	●
8			●	●				●									●
9			●	●													●
10	●			●	●			●		●	●						●
11				●							●						●
12			●								●						●
13			●							●	●					●	●
14			●		●						●					●	●
15				●			●		●		●	●	●	●			●
16				●		●				●	●			●	●		●
17				●	●					●			●				●
18						●			●		●	●					●

※特に関連の深いゴールを示している。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



取組	SDGsの考え方を適合させた主な取組の方向性等（例）
1	ゴール8：全ての産業での生産性の向上、イノベーションの創出による高付加価値構造への転換 ゴール9：次世代放射光施設を核とした研究開発拠点等の集積の促進
2	ゴール8：関連産業との連携を促進し、高付加価値な観光産業の創出 ゴール11：観光を契機とした宮城のファンの増加
3	ゴール2：付加価値の高い県産食品の安定的生産、農林水産業の持続的発展、ゴール8：先進的技術を活用した生産性の向上、大規模経営体の確保・育成、ゴール9：国内外における販路開拓等によるバリューチェーンの構築、ゴール12：資源の循環利用等による安定的生産、ゴール13：気候変動など環境変化への適応、ゴール14・15：海と陸の豊かさの保全
4	ゴール4：学びなおしなどの教育システムやキャリアアップに向けた体制整備、ゴール5：子育てなど様々な制約がある中でも柔軟に働き続けることができる環境整備、ゴール8：県内での就職・就業や定着促進、企業の事業継続力、創業等に向けた多様な支援制度の充実
5	ゴール8：産業基盤を有効活用した地域産業の活性化、東北のゲートウェイ機能の強化による交流人口拡大 ゴール9：先進的技術を活用した生産・物流・交流基盤の整備や機能強化
6	ゴール3：結婚や妊娠を望むそれぞれの人の希望を叶えるための支援、妊娠・出産期から子育て期までの切れ目ない支援の充実 ゴール5：安心して子育てできる環境整備
7	ゴール1：貧困が世代を超えて連鎖することのない子どもたちへの確実な支援、ゴール4：社会全体で家庭教育を支える環境づくり ゴール10：教育機会の均等、ゴール16：虐待防止体制、児童への社会的養育体制の充実
8	ゴール3：基本的な健康づくりや運動習慣の定着促進、ゴール4：各教育段階に応じた体系的なキャリア教育や豊かな心の育成、基礎的・基本的な知識・技能の定着、ゴール8：体系的なキャリア教育、グローバルに活躍する人材の育成
9	ゴール3：障害のある児童生徒など切れ目ない支援体制の充実、ゴール4：学習環境の充実と特色ある学校づくりに向けた取組の推進、教員の養成・採用・研修を通じた資質能力の向上、いじめの未然防止や解消に向けた総合的かつ効果的な取組推進
10	ゴール1：ひきこもり状態の方等の働きやすい環境整備、ゴール4：職業能力開発等による就業を希望する人への支援、ゴール5：女性等多様な人の働きやすい環境整備、ゴール8：職業相談や就労を通じた社会参画、ゴール10：人権の尊重や多文化共生への理解促進、ゴール11：関係人口の増加、地域コミュニティの機能強化や活性化
11	ゴール4：スポーツ大会で活躍できる人材育成、教育機関や社会教育施設による学びの活性化 ゴール11：文化芸術やスポーツの持つ力による地域活性化
12	ゴール3：健康づくり支援体制、切れ目ない医療提供体制の整備、感染症対策、福祉サービスの充実 ゴール11：誰もが自分らしく安心して暮らせる地域社会
13	ゴール3：発達障害や医療的ケアなどの支援体制の充実、ゴール10：障害を理由とする差別の解消 ゴール11：ユニバーサルデザインのまちづくり、ゴール16：障害者の権利擁護の推進
14	ゴール3：薬物乱用防止、ゴール5：子どもや女性の見守りなどの体制整備、ゴール11：交通安全、交通事業者等と連携した地域交通の維持、地域に適した柔軟な移動手段の普及等、ゴール16：犯罪の起きにくい環境づくり
15	ゴール4：持続可能な開発のための教育、ゴール7：多様な再生可能エネルギーの地産地消、ゴール9：高度な研究等を生かした環境関連産業の振興、ゴール11：不法投棄等不適正処理の根絶、ゴール12：環境に配慮した技術・プロセスの導入の促進、ゴール13：脱炭素社会の実現に向けた取組推進、ゴール14：廃棄物の発生抑制（海洋プラスチック等）
16	ゴール4：体験活動など学びの環境整備、ゴール6：河川、湖沼、海域等の保護・保全、ゴール11：農地、里山、沿岸部等の幅広い利活用、ゴール12：豊かな自然と共生・調和する社会の構築、ゴール14：河川、湖沼、海域等の保護・保全、地域と共生する在来の野生生物の多様性や生態系の保全、ゴール15：森林の保全、野生鳥獣の適正な保護管理や農作物対策
17	ゴール4：防災教育の充実、ゴール5：女性や若者を含めた防災リーダーの育成推進、ゴール11：東日本大震災の記憶の風化防止、県民の防災意識の向上、ゴール13：大規模災害に対し、防災・減災機能を備えた県土整備
18	ゴール6：河川・農業水利施設等の管理活動の促進、ゴール9：先進的技術等を組み合わせた社会資本の新設・保全・更新システム構築 ゴール11：地域のニーズ等の沿った適切な社会資本の維持・共有、ゴール12：ライフサイクルコストの低減

※ゴール17については、全ての取組において推進。